

まち未来だより

2021
April.
発行

宜野湾市基地政策部まち未来課

「まち未来だより」では、普天間飛行場の跡地利用に関する取組みについてお伝えします。

ねたてのまちベース ミーティング 活動紹介

本組織（略称：NB ミーティング）は、周辺市街地のまちづくりを含めた普天間飛行場の跡地利用を市民目線で考え、情報を発信し、基地返還後のまちづくりについて市民の興味・関心を高めるための活動を行っています。

令和1、2年度の検討テーマ

『周辺市街地から考える普天間飛行場跡地利用計画』

市民の関心事のひとつとして、現在住まいの地域が今後どのように変化していくのかということがあげられることから、「周辺市街地から考える普天間飛行場跡地利用計画」を検討テーマとして活動を行っています。

検討にあたっては、地域の「まちあるき」を行い、自分たちの地域と普天間飛行場の跡地がどのように関わっていくのかを確認し、また、意見交換を通して地域の課題や要望等の意見集約を行っています。また、普天間飛行場を含めた、市内にある洞窟や地下水脈から繋がる湧水について学び、普天間飛行場跡地のまちづくりにおける保全・活用の大切さについて学ぶことを目的に講話形式の「まちづくりカフェ」を開催しました。これらの活動を通して地域を再確認することで、跡地利用計画に反映すべき点を地域としてまとめていきます。

地域のまちあるき

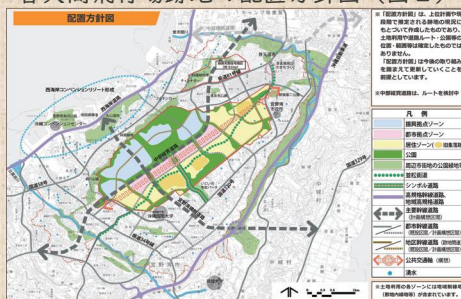
普天間飛行場跡地利用について関心をもっていただくため、市街地を中心とした将来構想図（図1）と普天間飛行場を中心とした跡利用配置方針図（図2）を活用し、基地返還後の跡地利用と地域の関わりについて見える化し、まちあるきを行いました。これまでに4地区の「まちあるき」を行い、多くの方に参加頂きました。

将来構想図（図1）



出典：宜野湾市都市計画マスタープラン

普天間飛行場跡地の配置方針図（図2）



出典：全体計画の中間とりまとめ

まちづくりカフェ 講話

普天間飛行場内や周辺市街地の洞窟について

普天間飛行場内や周辺市街地の地下には洞窟や地下水などの資源が豊富にあります。普天間飛行場を含めた市内にある洞窟や地下水脈から繋がる湧水について学び、普天間飛行場跡地のまちづくりにおける保全・活用の必要性について考えるキッカケづくりとして普天満宮の新垣宮司より講話をいただき意見交換を行いました。

開催日：令和2年12月4日（土）
会場：宜野湾ベイサイド情報センター
（1階 Gwave Cafe）

講話内容（一部）：

●沖縄には約800箇所の洞窟があり、そのうちの約600箇所は調査された洞窟である。宜野湾市は洞窟の密度が高く、小さな洞窟も含めると約140箇所以上の洞窟がある。

●宜野湾市は高いところで海拔が120メートルほどあり、雨が降ると、硬度が高い粘土層（不透水性）の地域から、北西側へ水が流れ、石灰岩地域で地下に浸透し、地下を通して国道58号沿いに（大山区）のいたるところで湧き出ている。

●普天間飛行場の東側にマーカーガマから基地の中にあるアジミー、ケレンケレンガマ、基地の西側（大山区と伊佐区の境目）にあるオグムヤーの線で洞窟がある。滑走路上は厚いアスファルトで覆われているので、雨水は地下に浸透しないが、アジミーから雨水が地下に流れ、オグムヤー周辺で湧水となり出現する。



講師：普天満宮 新垣宮司



会場のようす



会場のようす

「まち未来だより」に対する感想、ご意見をお聞かせください

- より分かりやすい情報誌にするため、「まち未来だより」に対する皆様のご感想、ご意見をお聞かせください。
- 右記2次元コードまたはURLより回答フォームへアクセスしてご回答ください。

▶2次元コードでアクセス



▶URLを直接入力

<https://forms.gle/5s4SoPirJYas27ne7>

【「まち未来だより」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課
〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 098-893-4401（直通）FAX 098-892-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口（宜野湾市基地政策部まち未来課）でも提供しております。情報収集や跡地利用に係る要望・ご意見を述べる場としてお気軽にご活用ください。

「まちあるき」から

これまでの「まちあるき」の取組みの様子や聞こえてきた地域の声を紹介いたします

① 神山地区 (令和元年7月)



資料：神山地域周辺の都市計画マスタープランと普天間飛行場跡地配置方針図の重ね図（琉球大学小野ゼミ企画提供）

●主な意見

- ・新しいまちづくりをする時には、先人達が住み続けてきた地勢や昔の景観や歴史を大事にしてほしい。
- ・シンボル道路予定地は、昔からの植生や文化財、墓なども残されている。線形や位置を変えるなどの検討が必要ではないか。
- ・現在の神山集落がそのまま残るのではなく、土地区画整理事業等を行い、新たなまちを形成していく事になると思う。
- ・神山に住んでいる若い人(40代ぐらい)は、飛行場返還後に新たなまちができれば跡地にできるまちに移り住むと思う。

② 新城地区 (令和元年9月)



資料：新城地区周辺の都市計画マスタープランと普天間飛行場跡地配置方針図と西普天間住宅地区跡地計画図の重ね図（琉球大学小野ゼミ企画提供）

●主な意見

- ・商業地区は琉大病院の近くが必要だと思う。だが商業地区を移動すると商業核エリアと分断されてしまうため、商業核エリアに人が流れなくなる懸念がある。
- ・西普天間住宅地区跡地の医療ゾーンに建つ建物の高さによっては、北谷方面への景観に影響がでる。新城地区からの眺望は地域の資源である。
- ・新城地区は西普天間住宅地区跡地と普天間基地跡地に囲まれた土地、交通量だけ増え新城の価値が落ちるのではという懸念がある。地域の方が不利益を受けないまちづくりをしなくてはならない。
- ・いこいの市民パーク程度の大きい公園が学校近くにできたら良いと思う。

③ 大山地区 (令和2年1月)



資料：大山地区周辺の都市計画マスタープランと普天間飛行場跡地配置方針図の重ね図（琉球大学小野ゼミ企画提供）

●主な意見

- ・跡地利用計画について知っている人と知らない人がいる。
- ・将来、子どもが暮らしやすいまちにしたいために小学生のうちから跡地利用について学ぶ事も重要だと思う。
- ・学校の近くに公園がないため、地域の子どもたちが遊ぶ公園があると良いと思う。横断道路が高架になった場合、西海岸方面の景色（田イモ畑、海）への影響が懸念される。
- ・周辺市街地と基地跡地におけるまちづくりとの繋がりが必要。

聞こえた地域の声



④ 大謝名・上大謝名地区 (令和2年11月)



資料：大謝名・上大謝名地区周辺の都市計画マスタープランと普天間飛行場跡地配置方針図の重ね図（琉球大学小野ゼミ企画提供）

まちあるきのようす



上大謝名自治会長から黄金宮の歴史や大切さ等の説明のようす



まちあるきのようす



地域内の湧水



地域の湧水を見ながら普天間飛行場の地下水から湧き出ている可能性などを説明しているようす



民家の屋上から普天間飛行場を見た景色と配置方針図の説明のようす

●主な意見：

- ・さくら公園の駐車場を跡地開発の中で確保していただきたい。公民館の前に公園があるのは、市内でも珍しい例であり、利用も多い。駐車場を整備することで、駐車場・公園・公民館の相乗効果が得られ、公民館の新たなモデルとなる。
- ・環境を大事にするような街、湧水をしっかり利用できて安心して住めるような街を目指してほしい。
- ・返還された後に高層ビルが建ち眺望を妨げるようなこととならないようにしてほしい。
- ・緑が多くあり住みやすいまちをつくってほしい。公園が多く、子ども達が遊べる安全なまちをつくっていただきたい。
- ・鉄軌道や幹線道路等の大きな交通軸の構想は示されているが、市民の足となる路面電車やモノレール、路線バス等のフィーダー交通も整備していただきたい。例えば、普天間飛行場は市の中心に位置しているので、その利点を活かして、飛行場跡地の外周に沿って路面電車を走らせるのはどうか。